

法人名	社会福祉法人 北見睦会	代表者	理事長 新田 洋子	法人・ 事業所 の特徴	法人自体には、北見市内で数多くの高齢者福祉事業を行っている。小規模多機能事業所むつみはグループホームが併設されていて利用者様、スタッフの交流が行われている。法人の共通理念「ゆっくり 少しずつ、自分らしく ありのまま」をかかげ、利用者様を尊重し思いや願いをかなえることができる介護に取り組んでいる。外出が好きな事業所でドライブの機会も多い。
事業所名	小規模多機能事業所 むつみ	管理者	上野 泰美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	人	6人	1人	人	人	1人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者様、ご家族が何を望んでいるかを考えることを忘れず、細かな部分でも、日々の生活がよりよくなっていくようにサービスをスタッフ皆で考えていく。	普段からご本人様やご家族に会えたときにご家族の話を聞いたりしてご意向を把握して皆でカンファレンス等で共有してどのようなサービスが良いのか考えていき、利用者様ご家族にはご理解していただいているように感じている。	<ul style="list-style-type: none"> 改善の取組みを丁寧に行っているのが分った。継続してください。 連絡帳で事業所の様子、家での様子を共有できているようでした。 本人、ご家族との対話が一番です。 家族の意見まで聞き入れてくださってありがとうございます。 生活状況は送迎の時に報告いただけるので安心しています。 本人ができる、できないを確認しながら過ごさせてもらっていることに感謝します。 	今後も利用者様、ご家族の思いを組み取り細かな部分にも配慮して支援に取り組んでいく。 現在、行っている連絡帳での報告、ご本人様、ご家族様との対話を大切に生かしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 今後もコロナウイルスの対策に取り組んでいく。 利用者様のご自宅での状況を考慮してできる範囲での環境作りに取り組む。(まずは利用者様によっては、就寝時間を遅くしてもよいという声かけやラジオを聞ける環境にする。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルス対策はしていたが、コロナクラスターになってしまう。その後、保健所より指摘されたことは徹底して取り組んでいる。 利用者様のご自宅での様子をお聞きしてできるだけ環境に配慮するものこちらではそうしなくてもよいと言われる利用者様もいたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境的に密になってしまうのは仕方がないので換気、マスクの対応をお願いします。 私たちもコロナ対策には気をつけます。今はどこで陽性になってもおかしくないですが、事業所は十分な対策を行っていると思います。 絶対必要な職員数の不足、国が制度を見直さないと解決にはならないのではないのでしょうか？ コロナ対策、大変ですが引き続きよろしく願い致します。 熱検温器等の導入、施設にコロナ感染者を入れない対策が必要では？ スマホの利用者はいないのか？新聞、雑誌、移動図書等のサービスの検討は？ 本人の希望(ラジオ等)利用させても 	今後も保健所より指摘を受けた点を改善しさらにコロナ対策に取り組んでいく。 ・利用者様の行いたいことを考慮して環境づくりに取り組んでいく。

			らったり環境面でも配慮していただいています。	
C. 事業所と地域のかかわり	チラシには介護の相談を受けることも記載し配布を行い、町内でも回覧をお願いして認知度を高める。	スタッフ皆でチラシ配布をするとともに、チラシには介護の相談を受けることも記載し、今年度は、新規申請の手伝いや居宅ケアマネへ紹介しサービスにつなげた。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人の目に触れる広報活動が来ていていると思います。 ・地域の相談窓口として今後さらに認知されることを期待します。 ・今後も活動を続けて地域とのつながりを強化され支える力となってください。 	来年度も新しいチラシを作り、介護相談を受けることを記載させていただき必要な介護サービスにつなぐことができる場所となるようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	外に出る機会を多く作り、状況により地域にお連れしたり楽しんでいただけるように考えていく。	コロナ禍のためなかなか難しかったが、再開されたイベント等にはお連れしたりして楽しんでいただけた。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大変だとは思いますが ・ドライブや地元行事(菊祭)見学など利用者様にとって良い気分転換になり楽しまれたのではないのでしょうか? ・家にいるより楽しいと言ってます。これからもよろしくお願い致します。 ・地域の方たちを取り込む活動をしてみてはいかがでしょうか? ・時々、出かけて頂いていた様で感謝しています。 ・色々なところに連れていってくれたと喜んでいました。 	外に出ることが利用者様にとってとても喜びであることを再度、認識し今後もドライブや地域のイベント等にはお連れして楽しんでいただく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナウイルスの状況により運営推進会議の開催の判断をしていく。この状況が続くのであればアンケート等で利用者様、ご家族様の意見を聞いていく。	コロナウイルスのため今年度も書面のみの開催となった運営推進会議でした。運営推進会議の案内には何かあればご意見を・・・という記載を載せていたが、そこまで強い要望などなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状どおり、今の状態では書面の報告で十分です。 ・事業所の自己評価でスタッフ同士のミーティング内容、改善計画の取り組みなどしっかり記載されていてわかりやすかったです。 ・運営推進会議等の案内に写真等を載せてもらおうと事業所のイメージがつかみやすくなるのではないのでしょうか? ・施設内行事、職員研修等、具体的内容や感想を盛り込み報告書を充実していただければと思います。 	・コロナ等で事業所に入っていたく機会が少ないため、運営推進会議案内に事業所内の写真を載せて見ていただきご家族様にも知っていただく。また、スタッフが受けた研修等も記載していく。
F. 事業所の防災・災害対策	昨年同様、状況を見て訓練内容を考えていく。自治区主催の防災訓練があれば参加していく。	春に火災訓練をおこなったが、秋は丁度コロナクラスター後まもなくで訓練はできず、スタッフ、利用者様とで消防訓練のDVD鑑賞をした。自治区の防災訓練も行われなかったため参加できず・・・	<ul style="list-style-type: none"> ・どの方が独歩などシュミレーションを十分に行っていただきたい。 ・避難訓練を行っていただきありがとうございます。 ・いつ発生するかわからないのが災害です。職員だけでなく地域の協力も得られる体制作りが必要だと思います。 ・コロナの状況を見つつ、訓練、研修に取り組みまれてください。 ・DVD鑑賞等もよいですね。 	状況を見て災害訓練を行う。スタッフと利用者様一人ひとりの避難の方法のシュミレーションを行う。

